



岩手県立 水沢農業高等学校

普通	理数	体育	農業	工業	商業	水産	家庭	総合
----	----	----	----	----	----	----	----	----

所在地	〒023-0402 岩手県奥州市胆沢小山字笹森1番地		
電話番号	0197-47-0311		
HPアドレス	note		
http://www2.iwate-ed.jp/msa-h/ (二次元コード)		https://msa-hs.note.jp/ (二次元コード)	

■設置学科・学級数・募集定員(R5)

- 農業科学科・1学級・40人
- 食品科学科・1学級・40人

■全校生徒数(R5.5.1現在)

124人(1年44人、2年41人、3年39人)



■スクール・ポリシー(3つの方針)【概要】

グレード・エーション・ポリシー(育成を目指す資質・能力に関する方針) ～このような力を伸ばします～

- ◆ 自ら課題を発見し解決する能力を身につける。
- ◆ 人間関係の形成能力と協調性を育成し、「自立」と「協働」を身につける。
- ◆ 地域産業を理解し地域を支える能力を身につける。
- ◆ 志を高く掲げ、何事にも挑戦し新しい自分を見つける力を身につける。
- ◆ 災害や事故防止、感染症対策に関する安全意識の育成を行う。

カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成及び実施に関する方針) ～このような学びを行います～

- ◆ 地域の持つ専門的な人材力を活用して、実践的な学びを行います。
- ◆ 2つの学科間の教育内容を横断的に編成し、幅広い知識を学びます。
- ◆ 多様な進路希望に対応した教育課程の編成を進めます。
- ◆ 課題解決能力を養う探究的学習を課題研究で行います。
- ◆ 研究機関や企業との連携をとって学習の深化を図る取組をします。

アドミッション・ポリシー(入学者の受入に関する方針) ～このような生徒を待っています

- ◆ 地域産業の発展を望み、地域のリーダーとして活躍したい。
- ◆ 心身共に健康で、熱心に専門的学習に取り組んでいきたい。
- ◆ 他者との協調性を養い、積極的に協力して課題解決に取り組みたい。
- ◆ 農業や食品に強い興味関心があり、専門的な学習がしたい。
- ◆ 自然や環境の問題に対してSDGsの視点から取り組む姿勢がある。

■学校の特徴

【農業科学科】

作物、野菜、果樹、草花の栽培技術と、家畜や小動物の飼育技術を中心に学習します。また、地域と連携しながら農業に関する実践力を高め、進路実現に向けて幅広く学習します。

【食品科学科】

食品製造の農業関連分野とフードデザインなどの生活系分野を中心に学習します。また、農産物の流通や商品開発、食育、食文化などの学習を深め、進路実現に向けて幅広く学習します。

○地域との連携

現場見学や社会人招聘、地域の特産物を活用した商品開発等を行っています。

例) 産業従事者招聘の特別講座

生産物や加工品の地元スーパーへの出荷

【学校の歴史】

本校は、明治36年に開校し、今年度創立120周年の節目を迎えます。



岩手県立水沢農業高等学校 特色化・魅力化ビジョン

○目指す生徒の姿(教育目標)

1. 個性を大切にし、協調と他人を思いやる生徒の育成
2. 明るく快活で健やかな心と、たくましい気力・体力・勤労意欲を身につけた創造性豊かな職業人の育成
3. 総合科学としての農業教育の理念に基づいた、知性と感性のバランスがとれた全人教育の推進

○3つのスクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー(到達地点)

- ・自ら課題を発見し解決する能力を身につける。
- ・人間関係の形成能力と協調性を育成し、「自立」と「協働」を身につける。
- ・地域産業を理解し地域を支える能力を身につける。
- ・志を高く掲げ、何事にも挑戦し新しい自分を見つける力を身につける。
- ・災害や事故防止、感染症対策に関する安全意識の育成を行う。

カリキュラム・ポリシー(学習内容)

- ・地域の持つ専門的な人材力を活用して、実践的な学びを行います。
- ・2つの学科間の教育内容を横断的に編成し、幅広い知識を学びます。
- ・多様な進路希望に対応した教育課程の編成を進めます。
- ・課題解決能力を養う探究的学習を課題研究で行います。
- ・研究機関や企業との連携をとって学習の深化を図る取組をします。

アドミッション・ポリシー(求める入学生)

- ・地域産業の発展を望み、地域のリーダーとして活躍したい。
- ・心身共に健康で、熱心に専門的学習に取り組んでいきたい。
- ・他者との協調性を養い、積極的に協力して課題解決に取り組みたい。
- ・農業や食品に強い興味関心があり、専門的な学習がしたい。
- ・自然や環境の問題に対してSDGsの視点から取り組む姿勢がある。

○連携先

- ・地域の農業団体・食品製造業者・PTA
- ・商品デザイン企業・地域自営農家・同窓会
- ・中学校 等

○特色ある教育課程

研究活動をとって、身の回りの課題を発見し、他者と協力して地域の産業活動の発展に寄与できる課題解決型学習を推進します。
また、研究活動に取り組む過程においてPDCAサイクルを活用し、その成果をプレゼンテーションすることで学習の深化と定着を図ります。